



活動報告

〈佐々木隊員〉

突然ですが、私が生まれたのは1988年6月です。ちょうどけんぶち絵本の里を創ろう会発足の年月と同じということで勝手に共通点を見つけてなんだか嬉しく思っています。今年はずっと30周年ですね。

先日、創ろう会の普及部だより「たくさんのはてな」を読みました。これは1991年6月から20か月に渡り創ろう会の活動内容を町民に対し、広くわかりやすく伝えるために発行された広報紙です。当時は会も発足したところで、暗中模索のなか、誤解を受けることも多かったとのこと。それでも少しでも身近に、楽しく感じてほしいとの理由から企画されたそうです。まるで絵本のように可愛らしくて味わい深い文章で語られる町おこしの経緯や温かい思い、そして沢山の素敵なエピソードが詰まっていて、とても感銘を受けました。このような取組をされてきた町に関われていることに私まで誇らしく感じました。微力ですが、これからも絵本の里づくりに携わっていきたいと思います。

先月の広報、協力隊通信に掲載した「けんぶちクロスワードパズル」のこたえです♪

3種の動物は…
これら動物が登場する物語が
こたえは
とけましたか?

〈青木隊員 「贈り物がくれる温かい心 ♥」〉

描(書)ききれないぐらい沢山の色々な形の贈り物をいただき感謝です!



バレンタインデーの本来の趣旨は、愛を込めて愛する人に贈り物をする事なのかと思いません。愛のシンボルのハート(こころ)が飛び交う時期ですが、みなさんの心を温かくしてくれるのは一体何でしょうか?

私の場合は色々な温かい思い出です。その中の一つには剣淵でのこんな出来事があります。ある日、小学校の近くで写真を撮っていると、一人の低学年の女の子に「お仕事頑張ってください!」と声をかけてもらいました。とっても嬉しかったです!知らない子に、こんな素敵な言葉をプレゼントしてもらえるなんて、私は幸せ者だと思いました。

他にも剣淵では素敵な出来事を沢山経験させてもらっています。外は寒くても心はいつも温かく、内側からぽかぽかしてくる幸せを感じながら、春の訪れを待つ2月です。

活動報告

〈鈴木隊員〉

先日、とても嬉しいお知らせをいただきましたので、この場を借りて、町内の皆様にご報告いたします。

一昨年の夏、長野県にお住いの親子が剣淵町にお越しくださり、当時の地域おこし協力隊（今井星衣礼さんと私）で、町内をご案内したことがありました。このときのエピソードを JTB 交流文化賞に応募したところ、一般体験部門で最優秀賞を受賞というご連絡をいただきました！！

JTB交流文化賞



JTB 交流文化賞一般体験部門は、『あなたの心に残る、あの“まち”での出来事。』有名な観光地だけではなく、自らが見つけて、知って、交流するという能動的な旅を楽しむ、人と人とのつながりやふれ合いから生まれたエピソードを募集したものです。

エピソード内容は、1月24日にホームページ上で公開されます。この原稿を作成している段階では、非公開のため内容を確認できていませんが、剣淵町でお世話になった方々への恩返しの気持ちが込められているようです。ぜひ、ご確認ください。（上の QR コードからサイトに飛べます）

さらに、剣淵町の絵本も制作してくださいました。この絵本も「家やまちの絵本」コンクールで実行委員会委員長賞を受賞しました。こちらは、既にインターネット上で公開されています。とてもステキな絵本になっていますので、ぜひ、ご確認ください。剣淵町で買うことができる絵本として、出版できたらいいと考えているところです。（右の QR コードからサイトに飛べます）

制作された
絵本の表紙 →



フェイスブック
地域おこし協力隊 の Facebook ページ

<http://www.facebook.com/kembuchicok/>

「みんなが考えるまちづくり」インタビュー

【第四回】ボランティアを通して



旭川から
来ました！

幌加内から
来ました！

剣淵高等学校3年生

（左）日下 紗良さん （右）佐藤 楓さん

子どもが好きで、学童に行ってボランティア活動をしています！（日下さん）
町の花のエゾリンドウを広めたくて草花研究会で活動しています！（佐藤さん）

様々なボランティア活動がされているようですが？

日下さん「私は高校のボランティア同好会に所属して学童でのボランティアをメインに行っています。」

佐藤さん「私は仲のいい友達と一緒にやりたかったのと、今年が高校最後の年ということでボランティア活動をやっています。剣淵を知るためにも始めました。」

やってみてどうですか？良かったことは？

佐藤さん「剣淵町のメインストリートを通る機会を得て『こんな所もあるんだ』と発見できました。」

日下さん「私たちは寮生なのですが、普段は駅とかコンビニとか限られた場所にしか行かないので…。」

お二人にとって、けんぶちのまちづくりってどんなことだと思いますか？

佐藤さん「剣淵と言えば絵本と言ってくれる町外の人が多いので、絵本で町をアピールすることかな？」

日下さん「絵本を使ったボランティアもいいかな？」

ここでアイデアを紹介したい方は、役場町づくり観光課の地域おこし協力隊青木までご連絡ください！
（電話）0165-26-9022（Email）s-aoki@town.kembuchi.hokkaido.jp（FAX）0165-34-2590